



# 2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

## 「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッ / 第 2620 地区ガバナー 星野義忠 / 会長 鷺津有一 / 幹事 鈴木一広  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアクティシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



### 第736回例会10月2日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクティシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：小林昭次 中野雄介
- 点鐘：鷺津有一
- 週報：寺田洋平
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」
- ゲスト：米山記念奨学生 肖 英華さん

### 出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)  
出席数 51 名 出席率 68.0%  
前々回出席率 71.05%

- ① 鷺津会長
- ② 高木一浩さん
- ③ 伊藤勝人さん

### 会長挨拶

鷺津会長



おはようございます。台風 2 4 号は当地に大きな爪痕を残し通過しました。メンバーの皆様もそれぞれにご苦労があると思います。私の家も御多分に漏れず、日曜の夜停電となりました。翌日はゴルフの予定でしたが、翌朝には復旧しているだろうと高をくくって寝ました。残念ながら停電から復旧はしていませんでしたが、台風一過の青空にゴルフへの期待感は増していました。が、7 時前に幹事の方から電話があり、皆さん停電により自宅や仕事への影響に対応したいと言うので中止にしましょうとのことでした。電話のあと、楽しみにしていたのに仕方がないなあとのつぶやきを聞いた妻から、車出せませんけどどうやって行くつもりですかとの指摘を受け、車庫のシャッターが電動だったのを思い出しました。会社に行くこともままならず、携帯も電池残量が少ないため、最小限の使用にとどめたため、周りの状況が分からなく不安が募りました。また、自宅でも何もすることができず、日中は日光の明かりが差し込む玄関で本を読むことしかできませんでした。日が暮れ、カンテラだけの明かりの生活は江戸時代の方の生き方を体験したような気持ちになりました。妻は、中部電力の対応に避難や愚痴ばかり言っていました。21 時半ごろ電気が復旧した際は、子供のように喜び、電気って本当にありがたいねと感謝までしていました。今まであまり感じなかったことですが、日常があるということがどんなに幸せかを教えてくれた停電だったような気がします。

### 幹事報告

堀内副幹事



- ① 西日本の災害義援金について、星野ガバナーより感謝状が届いています。
- ② 地区大会のご案内について。
- ③ 清明寮さんより広報誌が届いています。
- ④ レターケース内にロータリーの友 10 月号とミニ豆辞典あり。
- ⑤ エンドポリオの募金への御協力に感謝。

### 委員会報告

本日はありません

### 米山奨学生 奨学金授与

肖 英華さん



おはようございます。先日の台風は怖かったですね。台風による停電の中、原稿を作りました。楽しみにしててください。

卓話は次のページへ

議 事

議事 米山記念奨学生 肖英華さん卓話

「パワー浜松ロータリーと将来の夢」  
担当 米山記念部会



日本に来て半年がたち、学業と就職活動の面でのモチベーションが上がりました。毎週例会に参加することで RC の皆さんとのお話や社会的問題、あるいはスピーチなどを聞いていただいて日本の社会に対する認識がもっと広くなりました。例会以外で話すときも毎回みんなの知識の量に驚きました。自分の分野で頑張って勉強し続ける方たちに心から尊敬するようになりました。



半年間を過ごして、私も自分の故郷とか、日本に来てからの考えとかについて皆さんにシェアしたいと思います。私の故郷は中国遼寧省の朝陽市というところ。北京より少し北東方面にあって、気候は北海道と近い。綺麗な古い街と川があり、海洋生物の化石とか恐竜の化石がよく発見されました。歴史と化石などに興味がある方はぜひ一度来てみてください。



また、内モンゴルにとっても近いのでモンゴル民族の人がいっぱいここで生活しています。自分もそういうようなモンゴル族の一人です。モンゴル語が話せませんが、乳製品、羊などを食べる食習慣、ナーダム大会を行う民俗などはまだ残っています。モンゴル民族



で最も特色あるのはナーダム大会だと思います。毎年八月に草原で行い、レスリング、競馬、矢を射るなど運動項目の以外に、夜は大きなボンファイアパーティーがあり、みんなと一緒に周ってダンスをしたり焼き羊を食べたり、すごく草原の生活を感じられる良いチャンスだと考えます。そして、私が日本に来てから、特に中国と違うことについて紹介したいと思います。違う環境、歴史である原因でいろいろな文化が近いながら違っていますが、自分は特に話し方の違いに気がつきました。言語が異なる以外に、日本語で話すときはより丁寧で、マナーに気を付けると感じました。この前「異なる言語で話すときは異なる性格になる。」というような話を聞きました。確かに自分が日本に来てから、人と話すときに相手の気持ちをよく気をつけるようになりました。言語を通して、話す習慣と考える習慣に影響を与えることがすごく面白いと思います。毎回の例会を参加する際もみんなのお話から学校で勉強できない日本語の「話し方」について非常に勉強になると考えます。あと半年ぐらいの奨学生生活、ぜひ時間と機会を大切にして、皆さんのご世話とご関心を裏切らないように本気を出して頑張っていきたいと思っています。

スマイル報告

- ① 鷺津会長  
肖栄華さん、今日は日本語での卓話ありがとうございました。米山奨学生として残りの半年をさらに有意義に過ごしてください。
- ② 高木一浩さん  
9月22日～24日に鳥取市で全日本マスターズ陸上競技大会がありました。短距離の100mに出場しました。目標のタイムには届きませんでしたが、無事に完走することができホッとしています。いつもながら元気のいい年寄りが多いのに圧倒されます。来年も頑張ります。
- ③ 伊藤勝人さん  
会員の皆様、3月末まであと半年、栄ちゃんの事をよろしく！  
バックアップを宜しくお願い致します！！

\* 本日の例会は台風の停電による交通機関の混乱を考慮して、早めに終了とします。